

# バイオ燃料の生産システム構築のための技術開発事業

## 平成30年度予算額 24.0億円（20.0億円）

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- バイオ燃料の導入は、化石代替燃料としてCO2削減、エネルギー源の多様化のみならず、新たな産業創出の観点からも重要です。また、近年航空機の運航に起因するCO2について、国際機関が削減目標を策定する等、バイオジェット燃料導入への期待が国際的に高まっています。
- 本事業では、食糧と競合しないバイオエタノール、バイオジェット燃料の実用化に向けてコスト低減を図りながら研究開発を実施します。
  - ① エタノール生産については、要素技術の組合せをパイロット規模で検証し、事業性評価を踏まえた上で、事業化に向けた高効率製造技術の開発を行います。
  - ② バイオジェット燃料については、バイオマスのガス化・液化や微細藻類の培養技術等優れた要素技術を元にした、一貫製造プロセス構築のためのパイロット規模の検証試験を行うとともに、技術動向および導入普及に関する調査を行います。

#### 成果目標

- 平成26年から平成32年までの7年間の事業であり、本事業を通じて、エタノールについては、海外のエタノール価格と競争力のある製造コスト（70円/L未満）で製造する高効率製造技術を確立し、バイオジェット燃料については、2030年(平成42年)頃までに商用化が見込まれる一貫製造プロセスを1件以上確立します。

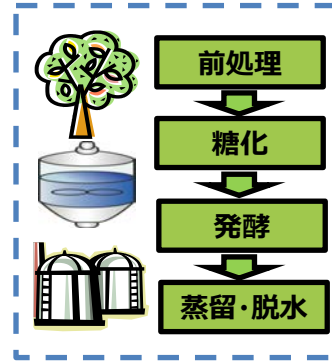
#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



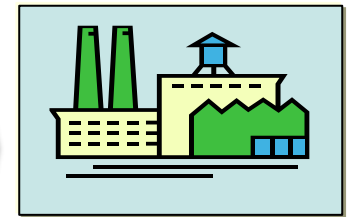
### 事業イメージ

#### (1) セルロース系バイオエタノール生産技術開発

##### (i) 要素技術の組合せ検証・事業性評価



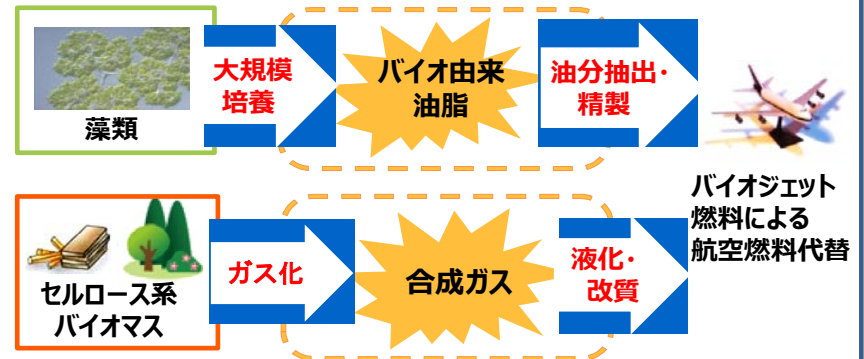
##### (ii) 高効率製造技術開発



原料～エタノール生産までの一貫生産システム

#### (2) バイオジェット燃料生産技術開発

##### (i) 一貫製造プロセスに関するパイロット規模の検証



##### (ii) 技術動向調査